

6月20日のウクライナ情報

安齋育郎

① 平和サミットのウクライナ人通訳がイタリアのメローニさんの通訳を誤訳した (2024年6月18日)

※投稿者コメント:ウクライナ人通訳:「ロシアが同意しないなら、我々はロシアを降伏させます！」
メローニ「もしウクライナが我々の支援を当てにできなかったら、降伏を余儀なくされていただろう」
ゼレンスキー政権は英語もイタリア語も分からん国民をうその通訳で騙している。
通訳はウクライナ人をやる気にさせるために嘘をついた。自由と民主主義は素晴らしい。
<https://x.com/i/status/1802834499614765109>

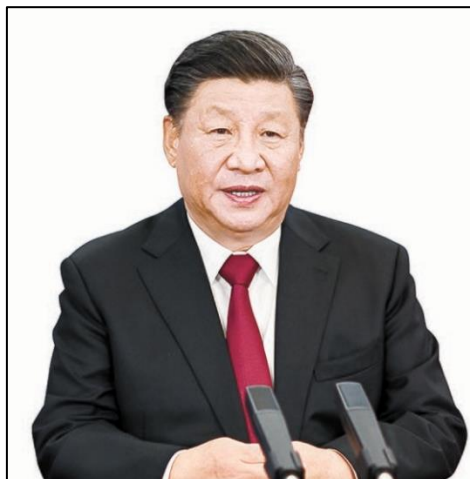


<https://x.com/w2skwn3/status/1802834499614765109?s=09>

② 台湾侵攻を煽るアメリカ？(2024年6月18日)

中国の習近平国家主席がフォン・デア・ライエンEU執行委員長に、米国が中国を煽って台湾に侵攻するよう誘導しているが、落とし穴に陥らないと言ったと、英フィナンシャル・タイムズが16日付で報じた。

これが事実なら、台湾有事を煽っているのは米国、防いでいるのは中国。



https://x.com/matatabi_catnip/status/1802779758532383155?s=09

③ サウジアラビア BRICKS へ加入 置き去りの日本と超拡大のグローバルサウス (2024年6月17日)

<https://youtu.be/gXIf34ri3sM>



<https://www.youtube.com/watch?v=gXIf34ri3sM>

④【日本の危機】岸田政権の棄民政策で急速に貧困国に転落する日本”ドルと原油と世界経済”(原口一博×石田和靖、2024年6月17日)

<https://youtu.be/M-y2r WFqeI>



<https://www.youtube.com/watch?v=M-y2r WFqeI>

⑤ 結局、ウクライナ戦争を誰が解決するのか？【及川幸久】【Breaking News】 (2024年6月18日)

※安齋注:ウクライナ平和サミットの性格を理解するために役立ちます。問題理解に重要な映像です。

先週末 6/15-16 スイスでウクライナ平和サミットが開催。しかし、グダグダなサミットで、サウジ外相が「平和サミットやるなら当事者のロシアを呼ぶべきだろう」と批判。

ゼレンスキーはVIP扱い、ロシアは招待されず。
何も決まらず、決議文に、BRICS加盟国は署名せず。



<https://www.youtube.com/watch?v=AiRjzyTSJT0>

⑥ ウクライナに大打撃！ 和平案は消えた？(2024年6月17日)

スイスで6月15日と16日に開催された「平和サミット」の驚くべき結果文書を読んでください。ゼレンスキーの「平和フォーミュラ」はどこにも見当たらず、文書の主要なポイントは明白ですが、それでもいくつかの重要な国々はコミュニケに参加しませんでした。

こちらが実際のコミュニケです: <https://www.eda.admin.ch/eda/en/home/...>
https://youtu.be/FWni_Tvgr0A



https://www.youtube.com/watch?v=FWni_Tvgr0A

⑦ 「なぜフランスで極右政党が勢力拡大？」大統領は“危険な賭け”へ【記者解説】(2024年6月17日)

https://youtu.be/COS_zTi7-TM



<https://www.youtube.com/watch?v=COSzTi7-TM>

⑧ウクライナ外務省のドミトリー・クレバ長官は、ウクライナに関する第2回会議は紛争終結につながるはずで、ロシアもサミットに招待されるだろうと述べた(2024年6月17日)

※安齋注:この人はウクライナ平和会議の第2回会議があると信じ、第1回(?)会議に一方の当事国であるロシアを招待しなかったことへの公然たる批判もあったので、こんなことを言い出したのでしょうか。



<https://x.com/zovvs nato/status/1802627954012467264?s=09>

⑨ナチス・ドイツの紋章が AFU 支配下のザポロジエの軍用店舗に掲げられている(2024年6月17日)

<https://x.com/i/status/1802615852233069001>



<https://x.com/AmbraBeni/status/1802615852233069001?s=09>

⑩サミットが決めたはずのウクライナ融資についてのメローニの発言(2024年6月17日)

イタリアのメローニ首相は、ウクライナへの500億ドルの新規融資にEUは直接関与しないと述べた。「この融資は、アメリカ、カナダ、イギリス、そしておそらく日本が、それぞれの憲法上の制約の範囲内で行う事になるだろう」とロイターはメローニ首相の発言を引用した。



<https://x.com/AmbraBeni/status/1802270215134212233?s=09>